【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【公開番号】特開2005-245658(P2005-245658A)
【公開日】平成17年9月15日(2005.9.15)
【年通号数】公開・登録公報2005-036
【出願番号】特願2004-58577(P2004-58577)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３１０Ｂ
Ａ６３Ｆ　7/02　３３４

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月5日(2007.2.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技機製品又は部品を梱包する遊技機梱包箱を封印するための封印装置であって、
前記梱包箱の外形に沿って各枠辺が設けられた箱状の枠体からなり、少なくとも一つの面に開口部を設けた本体と、
その本体の開口部に対して開閉可能に設けられ、矩形状の枠体からなる蓋体と
を備え、
前記本体と前記蓋体とが不可逆的に締結されるように構成されたことを特徴とする遊技機梱包箱封印装置。
【請求項２】
前記本体の各面は、前記梱包箱の各面を画定する各辺に沿って各枠辺が設けられた矩形状の枠体によって構成されたことを特徴とする請求項１に記載の遊技機梱包箱封印装置。
【請求項３】
前記本体の底面部は、全面封止されていることを特徴とする請求項１又は２に記載の遊技機梱包箱用封印装置。
【請求項４】
ドライバ等の治具によって締付け方向にのみ回転可能なワンウェイねじを備え、
前記本体と前記蓋体とは前記ワンウェイねじを介して締結されたことを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載の遊技機梱包箱封印装置。
【請求項５】
前記本体と前記蓋体との締結部分の少なくとも一部が突設され、その突設部分を破壊することにより締結状態を解除可能であることを特徴とする請求項１乃至４のいずれかに記載の遊技機梱包箱封印装置。
【請求項６】
前記本体及び／又は前記蓋体が樹脂材料によって構成されたことを特徴とする請求項１乃至５のいずれかに記載の遊技機梱包箱封印装置。
【請求項７】
前記本体と前記蓋体との間の締結部が着脱可能であり且つその締結部は前記本体と前記蓋体とが締結された状態で取外し不能に構成されたことを特徴とする請求項１乃至６のい

ずれかに記載の遊技機梱包箱封印装置。